

◆団体基本情報

No.	5	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市健康福祉事業団		
所在地	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2						
電話番号	022-215-3192		FAX番号	022-215-4140		所管 部局	健康福祉局 高齢企画課
団体ホームページ	https://www.senkenhuku.com/						
代表者職氏名	理事長 芳賀 洋一			設立年月日	平成3年3月28日		
基本財産等	200,000 千円		市の出捐額 (割合)	200,000 千円 (100.0 %)			
設立目的	仙台市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会（豊齢化社会）の実現に向けた生きがい・健康づくりの支援、介護知識の普及等を行い、もって市民福祉の向上を図ること。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康福祉意識の醸成及び啓発 ・市民の生きがい及び健康づくりの支援 ・高齢者等の介護に関する研修 ・仙台市等から委託を受けて行う要介護認定等に係る認定調査 ・仙台市からの指定を受けて行う「仙台市シルバーセンター」及び「仙台市健康増進センター」の管理運営 						
評価対象決算期	令和6年4月1日～令和7年3月31日						

◆人員等の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	63.0 歳	62.0 歳	63.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,687 千円	5,257 千円	5,366 千円
④職員数	137 人	140 人	134 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
⑤職員平均年齢	50.7 歳	50.7 歳	50.5 歳
⑥職員平均年間給与	3,949 千円	3,978 千円	4,217 千円

◆主要財務データ

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①当期経常増減額	△ 3,241 千円	△ 2,382 千円	△ 5,712 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 3,571 千円	△ 2,705 千円	△ 5,834 千円
④一般正味財産期末残高	307 千円	△ 2,398 千円	△ 8,232 千円
⑤指定正味財産期末残高	200,000 千円	200,000 千円	200,000 千円
⑥正味財産期末残高	200,307 千円	197,602 千円	191,768 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①市からの補助金	178,996 千円	178,524 千円	180,283 千円
②市からの委託料（指定管理料含む）	866,368 千円	905,072 千円	843,503 千円
③市に対する収入依存度	98.99 %	98.68 %	99.08 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和6年度事業費
訪問調査受託事業	仙台市及び他市町村から委託を受けて行う要介護認定及び障害支援区分認定のための訪問調査	446,857 千円
健康増進センター管理運営事業	施設・設備等の管理及び運営，使用料の徴収，広報，生活習慣病予防，障害者の健康づくり・介護予防等の事業	213,367 千円
いきがい健康づくり事業	豊齢化社会づくりの柱である，市民の生きがいづくり，健康づくりを支援するための各種事業	130,889 千円
シルバーセンター管理運営事業	施設・設備等の管理及び運営，使用料の徴収，広報，総合相談等	123,724 千円
介護研修管理運営事業	市民及び介護職を対象とした介護研修，福祉用具の展示，介護・福祉用具等に関する相談及び情報提供	42,467 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	高齢者が地域や社会における活動の担い手として活躍できるよう，社会参加活動の支援強化や活動機会の提供を行った。市民の健康づくり支援では，高齢者の介護予防・フレイル予防を目的とした運動教室開催，障害者健康づくり教室等の全区への展開，フレイルサポーターの養成及びその活用を行った活動等を実施した。また，介護職の資質向上を目的とした研修，高齢者や障害者への理解促進を図る学校向け介護講座等を開催したほか，要介護認定等訪問調査事業では，タブレット端末を導入し調査実施日数の短縮に努めた。シルバーセンター，健康増進センターの大規模改修の円滑な実施及び各種事業の代替会場での継続実施に取り組んだ。	地域における活動の担い手として高齢者への期待が高まる中，せんだい豊齢学園事業等による社会参加への支援強化や，健康づくり，介護・フレイル予防などに取り組むための事業を展開していただいた。今後も，高齢者を取り巻く情勢の変化に対応することを意識しつつ，公益的使命を果たしていただきたい。
2. 業務・組織管理	組織内での情報共有を密に行い事業の進捗状況等を確認するとともに，研修等による職員の資質向上，ICTの活用等により事業実施環境を整備し，業務の確実な実施を図っている。また，定年延長及び再雇用制度，人事評価制度による適正な人事管理と効果的な人材育成，心身のリフレッシュのための休暇の計画的な取得促進等により，環境の変化に柔軟に対応できる組織体制の向上に努めた。	組織内での適切な情報共有や，職員に対する研修，ICTの活用等により，確実に業務を遂行していただいた。引き続き効果的な人材育成等に努め，全体的な職員の資質向上に取り組んでいただきたい。
3. 財務状況	シルバーセンター休館に伴い安定した収益の維持確保が困難な状況であったが，適正な受益者負担を図るため，自主事業の講座受講料を所要経費に応じた水準に設定し，事業収益の確保に努めた。仙台市からの補助金，委託料が収入の大部分を占める状況であるため，今後とも計画的・効率的な予算の執行に努めてまいりたい。	シルバーセンター休館の中にあっても，経営安定化のために，経費の見直しに努めるなど引き続き財務基盤の強化に取り組まれない。

<p>4. 今後の方向性及び課題</p>	<p>高齢者の生きがいづくり支援や社会参加の促進、介護予防や生活習慣病の予防・改善、認知機能低下予防の普及啓発、フレイルサポーターの養成及び活用、地域で高齢者等を支えるための介護力向上に向けた取り組みを進める。また、引続きシルバーセンター及び健康増進センターの改修中も事業を継続して実施するとともに、施設再開に向けた準備を進める。</p> <p>仙台市高齢者保健福祉計画や中期事業計画等に基づき事業の推進を図り、実施状況の評価を行いながら、社会情勢や市民ニーズに応じた事業運営に努めたい。</p>	<p>シルバーセンター等の再開に向けた準備を着実に進めるとともに、アウトリーチなどの地域や民間事業者との連携にも引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>今後も高齢者人口の増加が見込まれる中で事業団の果たす役割に対する期待は高まっており、引き続き高齢者保健福祉計画等の施策や市民ニーズに沿った事業運営に取り組んでいただきたい。</p>
----------------------	--	--